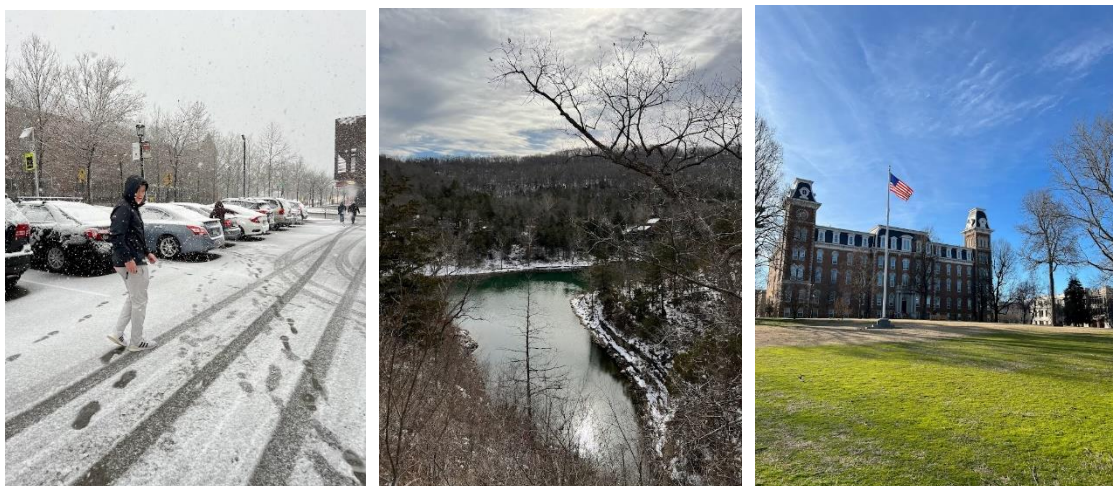


留学体験記 2023 3/1

約一か月の冬休みを終えて1月17日から春学期が始まっています。1, 2月のアーカンソーは寒く、風も強く、曇りや雨の日が続き、温度変化から風邪をひく人が多く、キャンパス全員が憂鬱な感じでしたが、最近は晴れる日が増えてきてみんなの笑顔が素敵です。キャンパスは丘の上にあるため坂が多く、風が強く、また雪が降ると車が滑るため多くの場合休校になり、一二月併せて合計で10日ほど休校になりました。



学校

春学期にとる授業を冬休み中にとる授業を申し込んでいましたが、留学生は履修登録機関が一番最後なので最初は希望の授業が取れませんでした。しかし一週間の登録変更期間にまめにチェックをして何とか希望の授業に変えることができました。とっている授業は

BIOL1541L 生物学ラボ

BIOL1543 生物学

CSES1203 植物学

FDSC2201 チョコレートの科学

HORT1303 園芸学

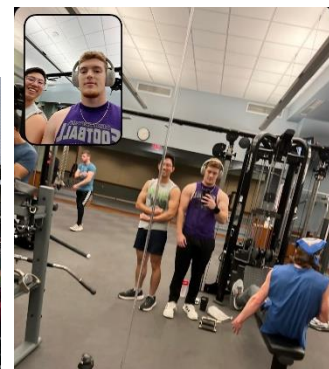
LARK2914 風景建築学

です。チョコレートのクラスはカカオの木からチョコレートになるまでを学び、工場見学をしたりほぼ毎回チョコレートが食べられて、楽しいです。園芸学では植物の名前を学んだり、花のデザインをしたりします。風景建築学は建築学科のコースですが、風景や自然、土壌、森林、庭園などについて深く学びます。宿題がとても多く、週一回ほどプレゼンがありますが、たまに日本庭園や森林など日本のことについて発表すると好評です。



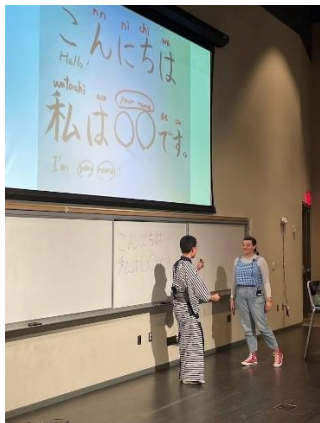
スポーツ

秋学期は主にアメフトの試合がありましたが、春学期はアメフト以外の、バスケ、野球、体操、陸上など様々なスポーツのシーズンなのでよく観戦にいきます。100ドルで生徒バスを買くと、一年間すべてのスポーツを観戦できます。どのスポーツもアーカンソーはレベルが高く、会場も大きく、特に生徒の席は盛り上がるので楽しいです。個人的には筋トレ、水泳、ランニング、有酸素、テニス、バスケなどをやっています。特に筋トレは去年の8月から週6で始めました。先学期はただ友達について行ってまねをしているだけでしたが、今年からは少し自分でも考えてやるようになりました。友達が減量を初めて筋トレ後に有酸素と一緒にやるようになったり、ほかの友達とはランニングを始めて、ほかにも常にスポーツをしているので沢山食べないとやせてしまうので食べるのが一番大変です。タンパク質と糖質ばかり取ってもバランスが悪いので野菜やフルーツ、キノコ、乳製品と大量の水を摂取するように心がけています。アメリカでは筋トレやスポーツは大きな文化で、観戦も、自分でするのも盛んで、高校ですら大金が動く大きなビジネスです。ムキムキな筋肉や大きく丸いお尻を目指し、それを見せつけたい人が多いです。アメフトなどコンタクトが多いスポーツが人気でなのも荒々しい力強さに楽しみと興奮を見出す人が多いからだと思います。激しいタックルやスラムダンクなどを見たあと熱狂が凄いです。スポーツ熱が凄いのので負けるとみんな元気が半減します笑



ICT

ICTはInternational Cultural Teamの略で先学期の初めからメンバーとしていろいろなイベントに参加しています。世界各国の生徒が自分の国を生徒や小学生、大人などに祭りや教室、国際イベントなど様々な場所でプレゼンやダンス、歌や、料理など通じて紹介し学びあうグループです。先学期はほとんどのイベントに参加していましたが、今学期はそのイベントを作る側として参加しています。コアメンバーに推薦されたときは大変そうで辞退しようか迷いましたが、今のところイベントを作る側のほうが楽しく、大変ですがやりがいがあります。ほかのコアリーダーたちとも過ごす時間が増えるのでより仲良くなりました。イ演劇をしたり、世界中のコーヒーとお茶のイベント（日本としては麦茶と抹茶を点てました）や、世界のダンス、世界のゲーム、小学生へのパフォーマンス（空手）などをしました。イベントからはインドやアフリカをはじめ、世界のダンスのノリや、世界のスパイスのにおいや食べ物、飲み物の違い、音楽や物事の楽しみ方に至るまで決して教科書からは学べない学びと、世界中の友達 that 得られるのは留学大国だからこそだと思います。



考えたこと

留学もあと二か月少しと、のこり少なくなってしまいました。友達と過ごせる時間が少なくなってきてとても寂しいです。特に親友とルームメイトをはじめ、同じ寮のよく一緒にいるメンバーと離れるのは考えられません。（ちなみに全然みんなで写真を撮らないので写真が一枚もないです。）アーカンソーでの時間は毎日が本当に幸せで、充実していて日本に帰りたくないです。自分の性格はとてもアメリカにあっていたと思います。周りの友達の考え方が、日本の友達よりもアメリカの友達のほうが自分に近く、それも過ごしやすかった理由の一つだと思いました。ただ、日本の、日本食と親のごはん、家族や友達、犬、日本の自然や隠岐の島、日本人としての価値観や美的センスなど恋しく感じることもあります。余りにアーカンソーの生活が好きなのでアーカンソー大学に転校することも少し考えましたが、自分の専門の学科のプログラムがそこまで充実していないこと、公共交通機関が充実しておらず車がないと買い物や、遠出、旅ができないこと。食。楽しすぎて毎日宿題以外にほとんど何の苦難もなく、周りの友達にいつも元気をもらっているのであまり成長しない

こと。(島根大学も楽しかったですが、コロナ期間やまわりの友達と少し波長が合わないこと、実家と違いすぎて同じ国内にかかわらずカルチャーショックを受けたり、交通事故など苦しいことも少しありました。しかし、少しきついほうが自分はよりよく考えて想像力も豊かになりました。島根の豊かな自然や歴史、文化からたくさんを気づき、学び、今の自分の中心となる考えを持つことができました。なので若いうちは自分をほんの少し大変な状況において成長したいと思い、アーカンソーはきついかなと思い来たのですが、毎日めちゃくちゃ楽しいです。) 実家と、島根と、アーカンソーと、自分にとってどの場所もかけがえのない大切な場所で、帰る場所が3つもあることは心強く、うれしく感じます。





